



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2013年（平成25年）8月5日号 No. 1602

目次

■ 2013年1～6月の日ロ貿易 —輸出が減少に転じる—	1
■ 統計速報 2013年1～6月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	6
■ トピックス 北海道銀行とロシアVTBが協力協定／7 モスクワみずほ銀行が増資／7 小糸製作所、ロシア・メーカーに技術支援／7 横浜ゴム、ロシアの国民的キャラクターでPR／7	7

2013年1～6月の日ロ貿易 —輸出が減少に転じる—

はじめに

日本財務省から、2013年上半期（1～6月期）の貿易統計が発表されたことを受け、当会では上半期の日本とロシア間の貿易に関し、輸出入商品構成をまとめたので、早速これを紹介したい。なお、ロシア以外のNIS諸国との輸出入動向も「統計速報」のコーナーに掲載しているので、あわせてご参照いただきたい。

2013年1～6月期の日ロ貿易をドル換算したところ、輸出入合計で172億4,598万ドルとなり、前年同期比0.4%増と、かろうじてプラスを維持した。日本側の輸入が111億5,950万ドルで、前年同期比6.9%増となったのに対し、輸出は60億8,648万ドルに留まり、前年同期比9.6%減を記録した。その原因は明白であり、日本の対ロシア輸出の大黒柱である自動車輸出が減少に転じたことにある。表3に見るように2013年2月以降、新車の乗用車の輸出が前年同月の水準を下回って推移しており、特に5、6月は大きく落ち込んだ。ロシアの景気が減速し、自動車販売市場でも在庫過剰感が生じて、日本からの輸出抑制に繋がったものと推察される。ただ、自動車以外の輸出は、現在のところ概ね増勢を維持している。

なお、表1が月ごとの為替レートで換算した数値を積み上げたものであるのに対し、表2、4は半年間の平均レートで単純に換算したものであり、ゆえに総額が微妙に異なる。